



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2021-48

(2021. 11. 25)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

城南信用金庫瀬谷支店の移転出店

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- ▶ 城南信用金庫は、2021年10月4日、瀬谷支店を瀬谷駅直結の再開発ビル「ライブゲート瀬谷」の2階に移転出店した。
- ▶ 同金庫の瀬谷支店は、大和支店を統括店舗（母店）とする預金特化型店舗となる。陣容は支店長以下6人で、来店客への相談業務に力を入れる営業スタイルである。
- ▶ 同支店の特徴の一つがコーヒーショップのドトールを併設した点である。城南フーズ株がFC加盟し、「ドトールコーヒーショップ城南信用金庫瀬谷店」を運営する。
- ▶ 同金庫は同支店をドトール併設店舗とすることで、①地域コミュニティの賑わい創出、②新たな顧客層の開拓・取引深耕に加え、③新規ビジネスやサービス提供のノウハウ蓄積、④職員の接客スキル向上などを期待する。

1. 瀬谷支店の移転出店

城南信用金庫は、2021年10月4日、瀬谷駅南口に直結する再開発ビル「ライブゲート瀬谷」の2階に瀬谷支店を移転出店した。

来店客数の減少などから、多くの信用金庫で店舗の在り方を（再）検討する動きが強まっている。同金庫では今後の店舗を地元における地域貢献や交流の拠点と位置付けており、これまでもインキュベーション施設や保育園併設店舗を出店してきた。今回、移転出店先のライブゲート瀬谷にはコーヒーショップ等がなく、通勤・通学客や買い物客のニーズは高いと見込まれた。そこで同支店の移転出店に合わせてコーヒーショップのドトール併設店舗にした。

2. 瀬谷支店の概要

（1）立地

ライブゲート瀬谷は、瀬谷駅南口に直結する10階建ての複合ビルで、1・2階にスーパーマーケットなどが店舗を構えるほか、3・4階に区民文化センターがオープン予定である。また上層階は分譲マンションとなる。

同支店は、同ビル2階の通路に面して出店するインスタブランチと位置付けられる。

（2）支店の概要

同支店は大和支店を統括店舗（母店）とする預金特化型店舗であり、渉外営業や融資セールスは統括店舗が担当する。

同支店の陣容は支店長以下6人体制で、来店客に対する預金セールスや各種の相談業務を中心に活動する。なお窓口営業時間は通常店舗と同じ平日9時から15時である。

（3）レイアウト

同金庫は同ビル2階に店舗スペースとして約130坪を所有する。このうち約90坪を同支店が利用する。ただし支店ロビーと併設するドトールの飲食スペースは共用の取扱いなので、営業時間中は自由に行き来できる。

同支店には、窓口2、相談コーナー2、応接室1がある。またATM2台のほか、全自動貸金庫も備える。事務スペースをみると、壁面収納を採用するため、金庫室レスとなる。

トイレや食堂の設置については、ビル共用も検討したが、情報管理の徹底および職員満足度の向上などを勘案し、同支店専用のトイレ、更衣室、食堂（休憩室）を設けた。

3. 「ドトールコーヒーショップ城南信用金庫瀬谷店」の併設

（1）契約関係

機械化などで当初計画より同支店の店舗スペースを縮小可能となったため、同金庫は余剰部分（約40坪）を地域コミュニティの発展に有効活用することにした。同金庫は、併設する「ドトールコーヒーショップ城南信用金庫瀬谷店」（ドトール瀬谷店）を運営する城南フーズ㈱と賃貸借契約を締結のうえ、余剰部分を賃貸している。

（2）ロビー共用の工夫

同支店のロビーとドトール瀬谷店の飲食スペースとの一体感を演出するため、ロビーデザインや椅子などの什器は統一感を持たせた。

ドトール瀬谷店の営業時間は平日・土日とも8時から20時で、同支店の窓口営業・ATM稼働時間と異なる。平日の場合、同支店は15時にカウンター前のイスターカーテンを閉め、15時から20時までドトール瀬谷店の利用者にロビーを開放する。ちなみに夜間などは同支店およびドトール瀬谷店ともに通路側のシャッターを閉め、ロビーなどに人が立ち入れないようにしてある。

（3）運営会社について

ドトール瀬谷店を運営する城南フーズ㈱は、同金庫が出資するみなみ商事㈱の100%子会社で、2021年7月に設立された。城南フーズ㈱は、ドトールコーヒーにFC（フランチャイズ）加盟し、同店を運営している。

同金庫は、飲食・サービス業のノウハウ獲得などを目的に職員1人を同社に出向させ、ドトール瀬谷店の店長を任せている。ちなみに他の店舗スタッフ（約20人）は大学生アルバイトなどが中心とのこと。

4. 狙い・期待する効果

同金庫は、同支店をドトール併設店舗とすることで、①地域コミュニティの賑わい創出、②新たな顧客層の開拓・取引深耕に加え、③新規ビジネスやサービス提供のノウハウ蓄積、④職員の接客スキル向上などを期待する。

同金庫では、同支店の運営状況をみつつ今後の店舗建替え時の参考にする考えである。またドトールとコラボレーションした共同イベントの開催なども検討していく。

（図表）オープン日の様子



（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所撮影

以上